

ランプの館へようこそ

—「B鑑賞(1)」—

～暮らしの中にある作品の鑑賞を通して、色や形、明るさやイメージなど造形的な特徴をとらえよう～

広島市立東野小学校 大庭 浩一

1 日時・場所 平成24年11月22日(木) 9:55～10:40 少人数教室・第1理科室

2 学年・組 第6学年1組(男子15名 女子19名 計34名)

3 題材について

○ 本学級の児童は、目的をもって何かをつくったり、飾ったりする造形活動は、意欲をもって主体的に取り組むことができる。その反面、自分の思いを絵や立体に表すことを苦手と感じている児童が多い。また、多様な材料を使ったり、いろいろな表現方法を用いたり、自由に発想したりすることに対して楽しさやおもしろさを感じつつある。鑑賞に関しては、親しみのある美術作品を、自分らしい見方や感じ方(自分の経験や生活実態にともなったとらえ方)で味わうことができるようになってきている。いろいろな作品にふれることで、いろいろな表現の仕方を知って感動したり、友だちと話し合う中で、互いの意見を尊重し合い、表現の意図や特徴などをとらえたりすることが少しずつできるようになってきた。しかし、小グループでは自分の思いや考えを伝えることはできるが、みんなの前で伝えることができる児童は多くない。

○ 本題材は、暮らしの中にある作品「ランプ」にふれた鑑賞活動である。6年生では学年テーマ「創造」をもとに、総合的な学習を通して、東野小学校をより魅力のある学校にしていこうとする「東野小 魅力アップ大作戦」を進めている。その作戦の一つに、12月には、クリスマスにかかわるイベントの一つとして東野ドリミネーションを計画している。また、別題材の図画工作科「線と光のドリミネーション」では、光るオブジェをつくり、東野ドリミネーションの計画に生かそうと考えている。

暮らしの中にある作品「ランプ」の鑑賞活動を行い、光や明かりのもつ美しさやよさを感じとることは、学校の魅力をあげようとする計画(総合的な学習)と光るオブジェづくり(図画工作科)の学習意欲や表現意欲を高め、総合的な学習と図画工作科の双方のねらいを達成することが期待できると考え、この題材を設定した。

光や明かりは、児童の生活の中で必要不可欠なものであり、身近に感じるものの一つである。しかし、ランプ(作品)にふれる機会は少ない。どんな光り方をするのか、光りのあたる美しさや雰囲気など児童にとっては、新鮮に感じながら親しみをもち、意欲的に鑑賞できるのではないかと考えた。一つの作品でも人によって、見方や感じ方が違ってくる。そこでそれらの作品に対する思いや感じ方をお互いに伝え合うことにより、友だちの感じ方に共感したり、違いを感じたりする中で多様な見方や感じ方を知り、作品のよさや美しさを感じ取る力を身に付けさせたい。

○ 指導に当たっては、まず、作品との出会いを大切にしたい。様々な種類のランプ(実物)を用意する。教室を暗くし、ランプに明かりをともして見せることで、好奇心を高め、鑑賞意欲をもてるようにし、十分な鑑賞の時間を設定する。しかし、これまでに鑑賞した作品(自他の作品や絵画作品など)に比べ、鑑賞した際に造形的な特徴をとらえることが難しいのではないかと考える。そこで、表現の意図や造形的な特徴をよりとらえやすいようにするために、お気に入りのランプを自分ならどこへ置きたいかということを考え、それを紹介しようという鑑賞活動を考えた。紹介するためには、形や色など造形的な特徴をとらえていかななくてはならない。そのような学習活動を仕組むことで、造形的な特徴をとらえ、自分なりの見方で味わって表現するという題材目標へせまるための手だてとした。より置きたい場所のイメージを作品からとらえやすくするために次の手だてを考えた。1つは、ランプの見る視点を示すことである。2つめは、ランプのもつ役割(気持ちが落ち着く、灯した環境を際立たせるなど)をふまえた上で、置きたい場所をイメージできるようにランプと調和した場面の写真を使いたい。学習の終わりには、ランプの持ち主であり、加計町に住んでおられる寄田知子さんの思い(なぜ、ランプを収集されたのか)を知ることによって、ランプへの思いを知ることができるよう

にしたい。

4 題材の目標

- 暮らしの中の作品（ランプ）を鑑賞し，形や色，材質感の違いなどの特徴をとらえる。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	工鑑賞の能力
題材の評価規準	ランプの形や色，材質感など，造形的な特徴を自分なりの見方で味わおうとする。	暮らしの中の作品について，感じたことを話したり，話し合ったりしながら，形や色など造形的な特徴などをとらえている。

6 本時の目標

- 暮らしの中の作品（ランプ）について，形や色，材質感の違いなどの特徴をとらえる。

7 準備物

（指導者） ランプ 見る視点が示された表

（児童） ワークシート 筆記用具

8 本時の展開

学習活動	○教師の支援 ★努力を要する児童への支援	評価規準・評価方法
1 作品と出会い，鑑賞する。	○ランプの館の雰囲気づくりをする。 （BGMをかける。） ○部屋を暗くし，ランプをともす。 ○お互いの考えを紹介し合い，互いの感じ方や見方がいろいろあることに気付かせる。	
2 本時のめあてを確認する。		
めあて ランプの形や光の色，光のイメージをもとに，どこに置きたいか考えよう。		
3 ランプのもつ役割を知り，どこに置きたいか考える。	○色，明るさ，形，イメージなどを基に，考えることを確認する。 ○写真をもとに，ランプを置くことで，置かれた場所がどう変わるのか，どんな効果があるのか考えさせる。 ○ランプの雰囲気を味わうために部屋を暗くしたまま鑑賞させる。 ★見る視点をもとにアドバイスをする。	エ 【観察】 エ 【ワークシート】
4 どこに置きたいか話し合う。 （小グループ→全体交流）	○選んだランプごとに小グループで話し合わせる。	エ 【発言】
5 ランプの持ち主の方の思いにふれる。	○ランプ全てが加計町に住む寄田さんの持ち物であることを知り，なぜ収集されたのか，なぜ収集されたものがランプだったのかなど持ち主の思いにふれさせる。	